

## CONTENTS

page

- |   |   |   |                                      |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1 | 令和2年版厚生労働白書<br>令和時代の社会保障と働き方  | 6 | すっきりわかる。年金<br>ねんきん定期便の記載に誤り、どうすればいい？ |
| 2 | <b>特集</b> 賞与、退職金、扶養手当や休暇は？<br>「同一労働同一賃金」最高裁判決まとめ  | 7 | 人事労務の法律ミニ教室<br>退職勧奨の注意点              |
| 4 | <b>TOPICS</b><br>●雇用シェアリング支援を強化、<br>異業種間でマッチング<br>●勤務間インターバル制度の導入率 7.6%<br>●WEB面接、導入率が倍増<br>●外国人技能実習生が働く事業所、7割で法令違反 | 8 | 事例に学ぼう！働き方改革<br>マニュアル化で効率アップ         |
|   |   | 8 | 労務ひとこと<br>中小企業向け<br>テレワークセキュリティの手引き  |

## 令和2年版厚生労働白書

## 令和時代の社会保障と働き方

厚生労働省は10月23日に「令和2年版厚生労働白書」を公表しました。

今年のテーマは、「令和時代の社会保障と働き方を考える」です。

## 人生100年時代に

平成の30年間の社会の変容と、今後20年間の変化の見通しは表のとおりです。少子高齢化がさらに進み、就業者数も減少していく中、女性や高齢者の就業率の一層の向上とともに、働く人のポテンシャルを引き上げ、活躍できる環境整備が必要だとしています。

また、令和22年に65歳である男性の約4割が90歳まで、女性の2割が100歳まで生存すると見込まれて

おり、まさに「人生100年時代」が射程に入ってきています。健康寿命を延ばすとともに、医療福祉現場での生産性を上げることが求められます。

白書では、令和時代の社会保障や働き方のあり方はデジタル・トランスフォーメーション<sup>※</sup>を前提として考えていく必要があるとしています。

※ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させるという概念。

## 新しい働き方

新型コロナウイルスの感染拡大による影響にも触れています。今回はテレワークという新しい働き方が急速に広がりました。時間や場所をより有効に活用しやすくなればフリーランスや副業での働き方が広がる可能性があり、ルールの明確化が問われるとしています。

平成の30年間と、令和22年にかけての社会の変容（抜粋）

	平成元年	令和元年	令和22年
高齢者数	1,489万人	3,589万人	3,921万人
出生数	125万人	87万人	74万人
就業者数 (うち医療福祉従事者)	6,128万人 (221万人)	6,724万人 (843万人)	5,245～6,024万人 (1,070万人)